

四国中央市福祉バス運営審議会 会議録

■ 日 時 令和6年7月2日（火）午後2時00分～午後2時45分

■ 開催場所 四国中央市 新宮公民館1階研修室

■ 出席者 委 員 会長 出水武美、副会長 篠原雅代、山本正行、藤原清子、脇 廣子、
(敬称略)

事務局 観光交通課長 内田康彦、観光交通課交通政策室長 高津孝雄、
課長補佐 脇 寿司、係長 石川裕美

■ 会議次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 自己紹介

出水武美会長を始め、委員5名の自己紹介を行った。続いて事務局4名の自己紹介を行った。
人事異動で観光交課長内田康彦が新しく配属となった。

4. 議 事

(1) 令和5年度 四国中央市福祉バス運営審議会委員の委嘱について（報告）

令和5年度（任期：令和5年10月1日～令和7年9月30日）の委員の委嘱について、会長出水武美様、山本正行様、藤原清子様、脇 廣子様が就任した。副会長の新宮小中学校長については、人事異動により後任の篠原雅代様が就任した。一般公募の応募は、無かった。

(2) 令和5年度 福祉バス利用状況について（報告）

福祉バスの概要について

福祉バスは、新瀬川線・日浦線・上山上部線・上山下部線の4路線を週5日運行している他、大谷線・杉谷線・田之内線の3路線を週1回往復運行している。運休日は、土曜日・日曜日・祝祭日・8月14日～8月16日・12月29日～1月3日となっている。

また、車両については、10人乗り2台・14人乗り1台の計3台で運行しており、不測の事態に備えて、他課管理の車両3台を予備車両としている。

① 一般乗合利用者数（現金での利用者数）

令和5年度の利用者数は2,047名、令和4年度の利用者数は2,090名で43名減少しているが、例年の減少率と比較しても、大きな差は無い。

② 定期券・回数券・しこちゅ〜チケットの利用者数

新瀬川線について

令和5年度の定期券の利用者数は960名。令和4年度より876名の増加。回数券の利用者数は330名で、令和4年度より110名の減少。しこちゅ〜チケットの利用者は10名で、令和4年度より2名の減少。令和5年度の利用者数合計は1,300名、令和4年度の利用者数合計は578名で、722名の増加となっているが、学生2名の定期券利用が要因と考えられる。

日浦線について

定期券と回数券の利用者は無し。令和5年度のしこちゅ〜チケットの利用者が2名で、令和4年度の利用者は無し。

上山上部線について

定期券の利用者は無し。令和5年度の回数券の利用者は407名で、令和4年度より33名の減少。しこちゅ〜チケットの利用者は4名で、令和4年度より8名の減少。

上山下部線について

定期券の利用者は無し。令和5年度の回数券の利用者は11名で、令和4年度より11名の増加。しこちゅ〜チケットの利用者は41名で、令和4年度より16名の増加。

③ 各路線利用者数

令和5年度の利用者数は3,812名、令和4年度の利用者数は3,145名で667名の増加。増加の要因は、新規の利用者及び新瀬川線の学生の利用が考えられる。

・ 質疑

学生の利用で増加となっているが、上山方面へのスクールバスは無くなったのか。

(協委員)

・ 応答

上山のスクールバスは運行している。新瀬川線を利用している学生により、利用者数が増加となった。(事務局 脇)

④ 福祉バス年度別利用者の推移

令和4年度と比較して、利用者数が増加している路線は、新瀬川線と上山下部線と大谷線と杉谷線と田之内線。減少している路線は、日浦線と上山上部線。日浦線の利用者は、主に奥の院の参拝客が占めており、それによって増減すると考えられる。

上山上部線の利用者は年々減少しているが、地域に居住している高齢者がいるので、免許返納者が増えていけば、利用者の回復に繋がるのではないかと。

上山下部線は、新規の利用者があり増加している。大谷線と杉谷線は、大きな変動無し。田之内線は、新規の利用者が増加した。全体に見れば、定期的な利用者と新規の利用者が増加している傾向にある。

・質疑応答なし

(3) 新宮町の人口推移について

新宮町の人口について、新瀬川・馬立・新宮については緩やかな減少だが、上山については減少幅が大きい。その内、65歳以上の人口推移については年々増加傾向のため、今後福祉バスの利用者が増加すると見込まれる。そのため、今後も福祉バスは生活路線として維持継続していく必要がある。

・質疑応答なし

(4) その他

福祉バス運営委員の中から、四国中央市地域公共交通会議委員の推薦をしたい。

(出水会長)

現在の委員である出水武美委員に再任をお願いしたい。(協委員)

了承(出水会長)

現在の福祉バスの運行は、令和2年10月1日改正の時刻表の通りである。次回の陸運局への登録更新は、令和8年の10月1日となっている。各路線の利用状況をみると、週5日2便の運行をしている日浦線の利用者数が大幅に減少している。このため、路線の減便も考慮しなくてはならない時期が来ていると考えるので、地域住民の声を聴きながら、来年の運営審議会に向けて、案を作成したい。他の路線についても要望があれば意見を聞かせて欲しい。(事務局 脇)

瀬戸内バスが令和6年3月で廃線となったため、4月からデマンドタクシーの新宮便を増便した。4月の利用者数が68名、5月利用者数が97名となっている。今後も地域の方が利用し易い様に検討していきたい。(事務局 高津)

デマンドタクシーは、朝と夕方の運行か。(協委員)

福祉バスとの接続を考慮して運行している。朝昼夕と運行しているが、これまで夜間便は19時台しかなかったが、17時台を増やしたことにより、高校生が利用し易くなっているようだ。(事務局 高津)

デマンドタクシー新宮便の登録者数は増えているのか。(協委員)

増加している。(事務局 高津)

利用者のいないバス停の見直しも必要(出水会長)

福祉バス、デマンドタクシー共にバス停の見直しも検討していく必要がある。
(事務局 脇)

5. 閉 会